

教育委員会だより

第38号 (令和6年1月～4月)

発行者
池田町・養基組合教育委員会
池田町六之井1468-1
tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314
e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

令和6年度の始まりに当たって

教育長 高橋利行

令和6年は、能登半島地震という大災害で始まりました。今なお多くの方が避難生活を送られているなど復興まななぬ様子ですが、お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

そんな中ではありますが、4月に小中学校ともに、新入生を迎え新しい年度が始まりました。担任が変わったり、教室の位置も変わったりして、児童生徒も新しい環境での学びが始まっています。

義務教育は国で学習する内容の基準が決まっています、全国どこでも同じ教育が行われているように思われがちですが、学校行事や総合的な学習の時間など学校独自の学習も多くあります。このような時間の中で、地域の皆様に「地元の先生」として学校に来ていただき、米作りや野菜作りを教えていただいています。また、公民館活動などにも参加させていただき、児童生徒の育成にお力をいただいています。改めてお礼申し上げます。今年度も引き続きよろしく願います。

岐阜県としても、このような活動を重視しており、県の教育方針の中で目指す人間像として「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」を掲げています。また、池田町も総合計画の中で「ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ」を掲げており、児童生徒が地元の皆様とふ

れあう中でこそ成長していくことができると思っています。

児童生徒の教育は、家庭や学校が担うことはもちろんですが、地域の皆様にも是非関心を持っていただき、児童生徒とふれあう場を多く持つていただくようお願いいたします。登下校で一言声を掛けたり、公民館等の行事に参加している子どもたちと一緒に活動したりしていただけると幸いです。今年度も皆様の児童生徒の成長へのご協力をお願いいたします。

令和5年度二十歳を祝う会開催

新型コロナウイルスの影響で、令和元年度を最後に、保護者の参加や式典方法に制約を設けていましたが、1月7日に開催した二十歳を祝う会は従来通りの式典や保護者の観覧などが復活し、中央公民館大ホールで4年ぶりに開催しました。式典には二十歳の節目を迎えた226人が出席し、司会進行は当時生徒会長の湯朝登羽さんが行いました。



岡崎町長の式辞では「社会の一員として堂々と自身の発言に責任を持ち、自分らしさを大切にして、夢に向かって真つすぐに歩んでください。みなさんの育った池田町を元気にするために、若い皆さんの力が必要です。若い感性と実行力で、池田町を魅力ある

町にするために力を貸してほしい。若き情熱とたくましい行動力を如何なく発揮しつづけてほしい」とメッセージを贈りました。

代表の大石爽真さんは「今生きていることは当たり前ではないです。(中略)しかし、死は必ず訪れます。また会えるから今度でいいやと感謝を伝えることを蔑ろにしないでください。先延ばしにした今度は訪れないことがあります。(中略)会いたい人に会うことや感謝を伝えること、自分の夢に向かって努力を続けることなど、生きていく間にしかできないことを精一杯行います」と二十歳の誓いを力強く述べ、式典を終了しました。式典後は時間が許す限り、友人同士や仲の良いグループでの写真撮影をしたり、久しぶりの再会で話が盛り上がったたり、会場内は希望に満ちた笑顔で溢れていました。

野球しよっぜー!

1月16日、池田町にも大谷翔平選手からのグローブが届きました。即日各学校へ届けられ、各学校では後日「お披露目会」等が行われました。生徒・児童たちは「本当に届いたんだ」と、大谷選手



からの規格外のパレゼントに笑顔を見せました。

西濃地区学校図書館教育賞受賞

温知小が以下の理由で優秀賞を受賞しました。
 ・児童委員会活動による図書館祭りの運営やおすすめの本の紹介など、児童が主体となった取組を行っている。
 ・おすすめの本は、図書館や廊下に展示されているQRコードで紹介動画を見られるようにするなど、読書意欲を高める工夫がされている。
 おめでとうございます。

初任者研修を開催しました

1月16日に開催され、初任者教員8名が参加しました。



まず、教育長より、教員として自分が教えたことを明確に持ち、子どもの実状に合わせた授業改善に今後も努めてほしいこと、また、池田町第6次総合計画から「ぬくもりがあふれる池田町」という言葉を取り上げ、将来を担う社会人を育てていることを念頭に置いてほしいといった講話がありました。

その後、初任の先生方から、9ヶ月の成果と課題の発表があり、教育委員との意見交換が行われました。各自の成果と課題をふまえて先を見据えた目標をもち、特に進級・進学を控え、次の学年へ送り出すために残りの期間でできることを考えている姿を頼もしく感じました。

午後はサンビレッジ国際医療福祉専門学校や福祉関連施設の見学と願成寺古墳群や霞間ヶ溪などの文化財の視察を行いました。今後一層の活躍を期待しています。

郡教育委員会連絡協議会研修会への参加

1月30日に2部構成で行われました。
 第1部は、揖斐川町西津波の西濃学園高等学校を視察しました。45人の高校生がいる西濃学園は、不登校児童生徒などの実態に配慮した特別の教育課程を編成することができると国から認められた私立の不登校特例校です。中学校は現在揖斐川町藤橋にあり、中学生37人が学んでいます。

この日は、加納博明学園長から「不登校児童生徒について考える」と題して、学びの多様な学校として大切にしておられる考え方や特徴的な指導・支援についてお話を伺いました。将来、社会的自立をした人になってほしいという願いをもって指導にあたっておられ、社会的自立についても



- ・ 生活的自立（調理、衣服、清掃）
- ・ 精神的自立（職業、自信、自己決定）
- ・ 経済的自立（金銭、仕組み、生活費）
- ・ 性的自立（男女、予防、主張）

と明確化し、自立のために10のスキルを付けていくこととされています。不登校児童生徒の将来を見据えた指導・支援をしていくこととする強い熱意が伝わってきました。

第2部は、香田静夫義務教育総括監の講話「これからの学校教育の在り方を考える」社会の創り手を育てる教育の推進」をお聞きしました。これからの教育は、多様な教育的ニーズへの対応が求められており、社会に開かれた教育課程の実現に向けた地域とともにある学校づくりが必要であることを学びました。

少子化が進んでいる今日でも、不登校児童生徒は全国

で30万人と言われています。学校に馴染めなかった子どもたちが安心して学ぶことができる場所が整備されるよう、各市町教育委員会が西濃学園のような地域の教育施設と連携協定を結ぶ大切さについて考える機会となりました。

南部校長会との合同会議を開催しました

今年度より南部校長会との合同会議を3回に増やしました。3月4日に3回目を開催しました。

各校長先生より「学校教育評価アンケート」に基づいて、R5年度の考察と改善の手だてが報告されました。

また、今回より、かねてより懸案であった合同会議の改善として、タイムリーなテーマに関する意見交換や協議の時間をもつことができました。今回は、特別支援教育についてというテーマで交流を行いました。児童生徒の日々の様子や限られた職員体制の中での指導など、各校の抱えている課題等を共通理解することができ、これからの特別支援教育について考えることができました。

令和5年度卒業式を行いました

池田中学校3月7日、各小学校3月25日に卒業式が行われ、中学校2333名、温知小76名、池田小64名、宮地小17名、八幡小68名、養基小40名（含む揖斐川町）の児童生徒が卒業しました。

「卒業おめでとう」ございます。

池田中では

校長先生の後ろから一人一人の卒業生の卒業証書授与の際の表情を撮影し、プロジェクターでその様子を映写する工夫がされ、会場の皆さんが生徒の晴れやかな表情

を見る事ができました。また、卒業生の最後の合唱にも感動を覚えました。卒業生の皆さんの新しいステージでの活躍を期待します。

温知小では

校長先生から「6年間で頑張ったことや仲間から学んだこと、悩んだことを忘れないで中学校生活を送ってほしい。必ずそれらは自分の糧になります」とエールが送られました。



5年生代表による贈る言葉(送辞)では、6年生に対する感謝の言葉がちりばめられ、それに心える卒業生のお別れの言葉(答辞)は、6年間の思い出や行事が、一人一人の声で会場に届けられました。代表によるピアノ演奏(BGM)がとても上手で雰囲気盛り上げていました。最後に「いのちの歌」が合唱されました。その間奏では、両親に対する感謝の言葉が伝えられ、会場内の雰囲気も一気に盛り上がりました。

150周年記念の日に来校された堀島行真選手からお祝いのメッセージが届いていました。会場では、大きな卒業証書が掲示されていました。きつと記念写真の撮影に使われることでしょう。

池田小では

卒業生一人一人に校長先生から卒業証書が授与された後、卒業生全員が保護者の方を向いて、一言ずつ6年間の思い出を言葉にしていきました。コロナ禍でいろいろなことあった小学校生活でしたが、楽



しく充実した時間を過ごしてきたことが伝わりました。そして、合唱も聞くことができました。明るい未来と希望がもつた、心に響く歌声でした。

宮地小では

17名の卒業生全員が中学校の制服を着用し、一気に成長したように感じました。校長先生からは、高橋系吾さんの「その一言」という詩が卒業生に送られました。「ほんのわずかな一言が不思議に大きな力を持つ」という一節には大いに共感するものがありました。



卒業生の合唱「最後のチャイム」は元気が良く、ハイモニーも素晴らしく、快く聞くことが出来ました。17名がいつまでも仲良くし、その上でそれぞれが、新しい友だちを作り新しい目標を見つけていってほしいことを願うものです。

八幡小では

校長先生からは、「あなた達のよさは、何と言っても『優しい笑顔』でした。高学年になってからは、下級生に優しく笑顔で接してリードしてくれました。時には涙した仲間がいた時も、どうすれば皆が笑顔でいられるか考えました。これからもいろいろな困難に出会っても、優しい笑顔を大切に頑張りましょう!」と呼びかけられ、卒業生は「はい!」と力強く答えていました。



岡崎町長からは、八幡小の伝統にもなっている菊作りで、地域の方と育てた菊を役場や施設に届けてくれたお礼と、「池田町の町づくりを担う要として、活躍する人

になってほしい」とはなむけの言葉が贈られました。

養基小では

卒業生の美しい所作や返事は、養基小の「4つの伝統」に加え、5年生へ引き継がれたことと思います。証書授与後、一人一人スピーチを行いました。授業や委員会活動、学校行事での取り組み、下級生とのコミュニケーションや地域の方へのあいさつなど、心がけたこと、また、それを糧に中学生になって挑戦したいことを伝える姿は大変頼もしく感動的でした。



校長先生の式辞では、「寛容」の心を持って仲間と接することができたことが、児童会目標の「えがお」を広げる成果につながったというお話がありました。最後に卒業合唱として「カイト」を披露され、コロナ禍で味わえなかった仲間と歌う喜びがハイモニーに乗って伝わってくる卒業合唱でした。

令和6年度入学式を行いました

4月8日、満開の校庭の桜に迎えられ、池田中学校では午後から、各小学校では午前中に各学校で入学式が行われ、中学校245名、温知小49名、池田小33名、宮地小8名、八幡小31名、養基小32名(含む揖斐川町)の児童生徒が入学しました。

温知小では

ご入学おめでとございました。担任の先生から新入生一人一人の名前が呼ばれ、どの子も「はい」と元気な返事ができました。



校長先生から、3つの約束「友だちと仲良く」「先生や友だちの話をしっかりと聞く」「早寝、早起き、朝ご飯」についての式辞がありました。6年生の児童代表から、ふれあい班活動や休み時間の過ごし方について説明があり、「楽しいことがいっぱいある温知小」ということが印象的でした。

池田小では

保護者の拍手に包まれて体育館に入場してきた新入生は、皆良い姿勢で、お話をしっかりと聞くことができました。

校長先生からは、イラストを見せながら小学校生活で気を付けてほしいことのお話がありました。これからの学校生活が楽しみで仕方ないといった1年生の表情が頼もしく思えました。

体育館の壁は在校生が作成した鮮やかな装飾に彩られ、歓迎の気持ちが満ちていました。元気な小学校生活のスタートにふさわしい、気持ちの良い入学式でした。

宮地小では

8名の1年生は、新入生紹介ではきちんとした返事ができ、また、校長先生や来賓の祝辞を行儀良く聞くことが出来ました。

校長先生からは「①自分の安全は自分で守りましょう②気持ち良い挨拶をしましょう③友達と仲良くしましょう」というお話がありました。また、6年生からは「宮地小は人数が少ないけれど1年生から6年生まで全員が仲良しです。皆で仲良く頑張っていきましょう」という歓迎の言葉がありました。自分の得意なこと、やりたいことを探していってくれる充実した6



年間になることを願うものです。

八幡小では

新しく着任された校長先生からは、式辞の中で「やわた」の頭文字を使って「誰にでも優しく、いろいろなことにわくわく興味をもって、たくましく頑張ってください」とお祝いの言葉がかけられました。

「ご入学おめでとうございます」の呼びかけに「ありがとうございます」と深々とお辞儀をして元氣にお礼が言える新1年生でした。

養基小では

名前が呼ばれると、「元氣よく」「ほこ」と返事をして立つことができました。

校長先生から、「お友だちをつくるひみつ」として、うれしかったら「ありがとう」「嫌だったら」「やめて」「わからなかったら」「おしえて」など、「自分から進んでお話をしましょう」とお祝いの言葉がかけられました。代表児童から、全校仲よし班での楽しい活動の紹介があり、真剣に話を聞く新1年生の姿から、明日からの学校生活へのわくわく感が感じられました。

池田中では

校長先生より、「志をもって未来を切り拓け」の教育目標の話がされ、みんな支え合って充実した3年間を送って欲しいという式辞がありました。まだ慣れない、詰め襟・セーラー服姿に、初々しさを感じるとともに、新しいスタートに立つ緊張感に頼もしさも感じました。充実した3年間を送られることを祈念します。



編集後記

教職員の異動もあって、慌ただしい中で令和6年度がスタートしました。桜の季節から新緑の季節となり、新しい環境での緊張感もほぐれ、新たな目標を持って落ち着いた生活を送りつつあります。

それぞれの学校では、卒業式、入学式でもマスク着用の児童生徒もかなり減り、合唱も再開され、通常の教育活動に戻ってきていることを感じました。しかし、昨年度はインフルエンザ感染症が広がり、学級、学年閉鎖等もありました。感染症対策とともに、熱中症対策も行い、児童生徒が安心安全な生活を送れるよう、ご協力をよろしく願います。

今年度も教育委員会の活動がよりよく伝わるような発行を目指しますので、本たよりについて、お気付きの点があれば、お知らせください。

編集担当：林 啓子・勝野 茂優

教育委員会の主な活動報告 令和6年1月～4月

日付	活動	場所
1月7日	池田町二十歳を祝う会	池田町中央公民館
1月16日	初任者研修会	庁舎会議室
1月29日	池田町・養基組合同教育委員会	庁舎会議室
1月30日	揖斐郡教育委員会連絡協議会研修会	西濃学園、はなもも
2月19日	池田町・養基組合同教育委員会	庁舎会議室
3月4日	南部校長会・教育委員会合同会議	池田町中央公民館
3月7日	池田中学校卒業式	池田中学校
3月25日	小学校卒業式	各小学校
3月27日	町教職員離任式	庁舎会議室
4月1日	町教職員着任式	池田町中央公民館
4月8日	小学校・中学校入学式	中学校・各小学校
4月17日	池田町・養基組合同教育委員会	庁舎会議室
	教育委員会だより編集会議	庁舎会議室
4月25日	南部校長会・教育委員会合同会議	池田町中央公民館

